

感謝

南三陸町
合併10周年記念誌

 10th ANNIVERSARY
MEMORIAL BOOK



CONTENTS

合併10年によせて（南三陸町長 佐藤 仁）……………	1
南三陸町合併10年のあゆみ……………	2
未来の扉 私たちの未来予想図……………	5
感謝 ～そしてともに未来へ～……………	8
データで見る南三陸町……………	10
町民憲章……………	12





未来へ 南三陸町長 蛭藤 仁

10年前の平成17年10月1日、志津川町と歌津町が合併して「南三陸町」が誕生したことは、記憶に新しいところと思います。あれから烏兔匆匆と10年の歳月が経過しました。

国は、強力に地方分権を推進するため、市町村を地方分権の担い手としての基礎自治体と位置付け、これにふさわしい行財政基盤を持つ必要があるという考えから、平成の大合併を推進しました。さらに、これと連動して進められた「三位一体の改革」により、志津川町と歌津町は2町合併の道を選択しました。

この10年を顧みますと、合併以来、平成19年度に策定しました長期総合計画に定める基本理念「自然との共生」などの実現に向け、全力を傾注してまいりました。そのような中で平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、希望を絶望へと変え、この時から我々の目標は、復旧・復興へと変化しました。

東日本大震災から4年6ヶ月が経過し、我が町は全国的さらには世界的な支援により、着実に復興へと進んでおります。

現在の復興まちづくりは、まさに未来の礎であります。我々は、東日本大震災という未曾有の災害からの復興を成し遂げ、次世代を担う若者達に当町の魅力や宿命を引き継いでいかなければなりません。

このようなことから、合併10周年の節目を迎え、これまで我々が行ってきたことをまとめ、未来への礎とすることに大きな意義があると考え、この度、合併10周年記念誌を刊行する運びとなりました。

町民皆さま、関係機関の皆さまにおかれましては、創造的復興という本町の挑戦に対し、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

合併10年のあゆみ

- 平成17年 1月 合併調印式
- 平成17年10月 志津川町と歌津町が合併し、「南三陸町」誕生
- 平成17年11月 町長・町議会議員選挙、初代町長に佐藤仁氏就任
- 平成18年 3月 泊保育園を閉園し、名足保育園に統合
- 平成18年 4月 町章及びイメージシンボルを決定
- 平成18年 5月 南三陸町開町記念式典
山形県庄内町と友好町盟約を締結
- 平成18年 7月 はまゆり大橋開通
- 平成18年10月 歌津公民館完成
町民バス・乗合タクシー運行開始
- 平成19年 2月 名足保育園が完成し、港保育園が名足保育園に統合
- 平成19年 4月 南三陸町総合計画策定
藤浜小学校が閉校(3月)し、新生戸倉小学校がスタート
南三陸町消防団発足
- 平成19年12月 南さんりく斎苑供用開始



南三陸町役場開庁式



山形県庄内町と友好町盟約を締結



はまゆり大橋開通



南さんりく斎苑



名足保育園



入谷小学校

- 平成20年 4月 荒砥小学校と清水小学校が閉校(3月)し、新生志津川小学校がスタート
- 平成20年10月 入谷小学校校舎・体育館が完成
- 平成21年 4月 入谷中学校が閉校(3月)し、新生志津川中学校がスタート
- 平成21年11月 街なか交流館完成
- 平成22年 2月 チリで発生した大地震により大津波警報が発令され、最大130センチの津波を観測し、養殖漁業施設などが大きな被害を受ける。
- 平成22年11月 南三陸町合併5周年記念式典
南三陸町民憲章制定



街なか交流館



南三陸町合併5周年記念式典

東日本大震災発生



天皇・皇后両陛下来訪



公立南三陸診療所



伊里前福幸商店街

- 平成25年 3月11日 東日本大震災2周年南三陸町追悼式
- 平成25年 4月 1日 南三陸消防署仮庁舎開所式
- 平成25年 5月25日 モアイ像除幕式及び開眼式
- 平成25年 7月29日 安倍晋三内閣総理大臣来町
- 平成25年10月22日 町長・町議会議員選挙
- 平成25年11月 8日 名足小学校入校式
- 平成25年11月12日 三笠宮家彬子女王殿下来訪
- 平成25年11月25日 キャロライン・ケネディ駐日大使来町
- 平成25年12月21日 防災集団移転促進事業藤浜団地竣工式

- 平成23年3月11日 東日本大震災発生
- 平成23年4月15日 公立南三陸診療所を開設
- 平成23年4月27日 天皇・皇后両陛下来訪
- 平成23年5月10日 全小中学校が再開
- 平成23年6月 1日 登米市米山町に公立志津川病院を開設
- 平成23年9月 5日 みんなの児童館完成
- 平成23年9月11日 東日本大震災犠牲者南三陸町慰霊祭
- 平成23年9月30日 南三陸町震災復興計画策定
- 平成23年10月3日 南三陸警察署仮庁舎披露式
- 平成23年12月13日 伊里前福幸商店街オープン
- 平成24年3月11日 東日本大震災犠牲者南三陸町追悼式
- 平成24年2月25日 志津川復興名店街オープン
- 平成24年3月27日 南三陸町役場・歌津総合支所・公立南三陸診療所竣工式
- 平成24年4月12日 志津川保健センター、歌津保健センター落成式
- 平成24年6月12日 入谷小学校プール落成式
- 平成24年7月28日 あさひ幼稚園仮設園舎落成
- 平成24年8月20日 B R T 暫定運行開始
- 平成24年9月15日 震災廃棄物焼却炉火入れ式



志津川復興名店街（さんさん商店街）



B R T



三陸道、志津川トンネル着工式



南三陸町図書館、コアラ館

合併10年のあゆみ



天皇、皇后両陛下下来訪



三笠宮家彬子女王殿下下来訪



キャロライン・ケネディ駐日大使来町



モアイ像除幕式及び開眼式



名足小学校



防災集団移転促進事業藤浜団地竣工式



安倍晋三内閣総理大臣来町

- 平成26年 3月11日 東日本大震災3周年南三陸町追悼式
- 平成26年 3月15日 戸倉中学校閉校式
- 平成26年 3月29日 南三陸町バイオマス産業都市構想認定
- 平成26年 4月 1日 戸倉中学校が閉校し、新生志津川中学校がスタート
- 平成26年 4月14日 三陸自動車道南三陸道路1号トンネル貫通式
- 平成26年 7月14日 南三陸病院・総合ケアセンター着工式
- 平成26年 7月23日 天皇・皇后両陛下下来訪
- 平成26年 7月31日 入谷・名足復興住宅竣工
- 平成26年 9月 3日 戸倉小学校災害復旧工事起工式
- 平成26年12月17日 観光復興推進計画(観光特区)認定
- 平成27年 1月15日 柞沢復興住宅竣工
- 平成27年 3月 7日 三陸自動車道南三陸道路2号トンネル貫通式
- 平成27年 3月 4日 南三陸町地方卸売市場起工式
- 平成27年 3月11日 東日本大震災南三陸町追悼式
- 平成27年 7月11日 安倍晋三内閣総理大臣来町



南三陸町バイオマス産業都市構想認定



戸倉中学校閉校



入谷復興住宅



南三陸病院・総合ケアセンター着工式

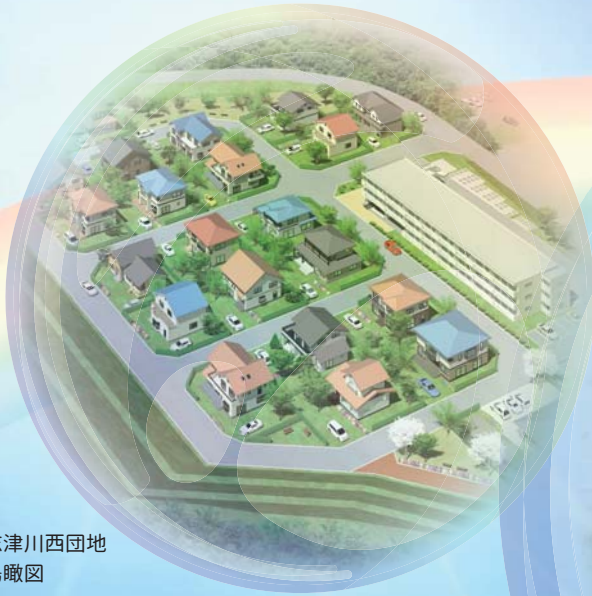


三陸自動車道南三陸道路2号トンネル貫通式

未来の扉



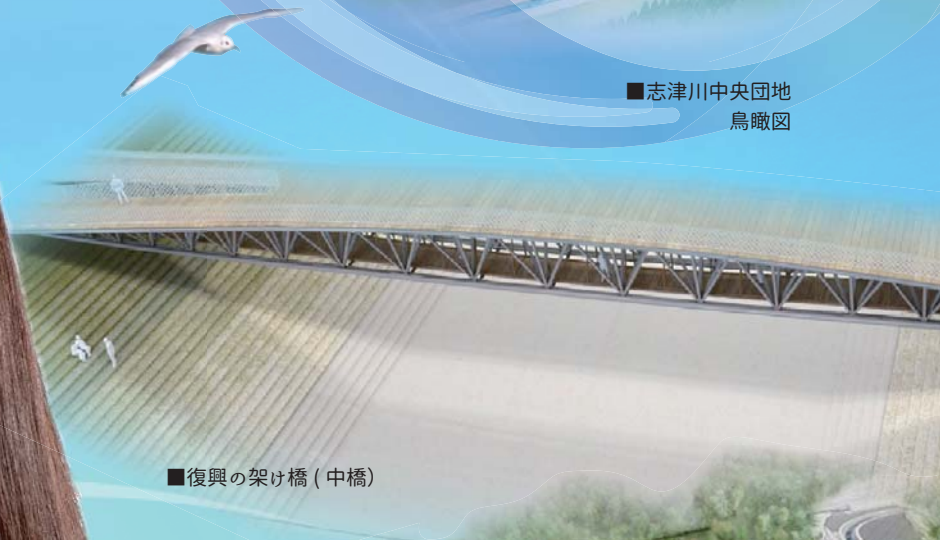
私たちの未来予想図



■志津川西団地
鳥瞰図



■志津川中央団地
鳥瞰図



■復興の架け橋 (中橋)



私たちの未来は 私たちの力で
私たちが切り拓いていきます。



■伊里前地区
鳥瞰図

■志津川中心市街地鳥瞰図

感謝

「ありがとう」の
一言では言い表せない
感謝の気持ちでいっぱいです。





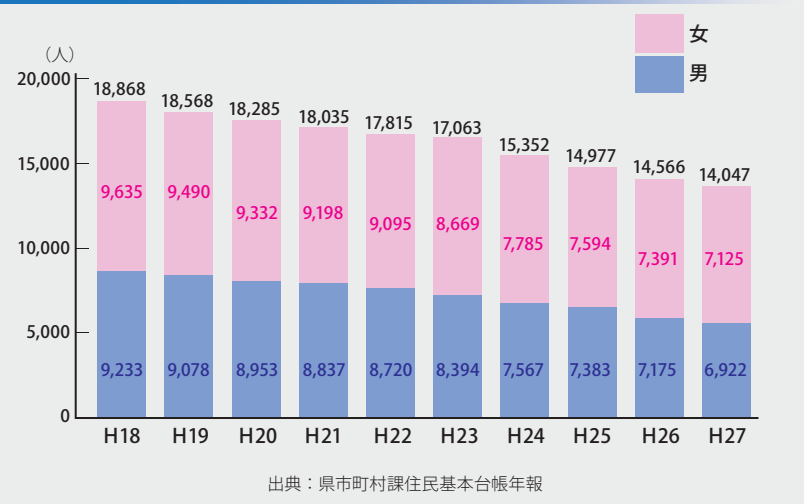
支援から始縁へ…

データで見る南三陸町

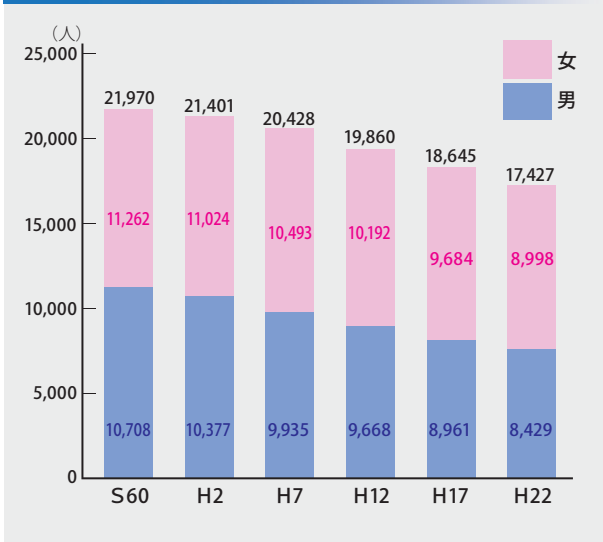
■南三陸町の地形



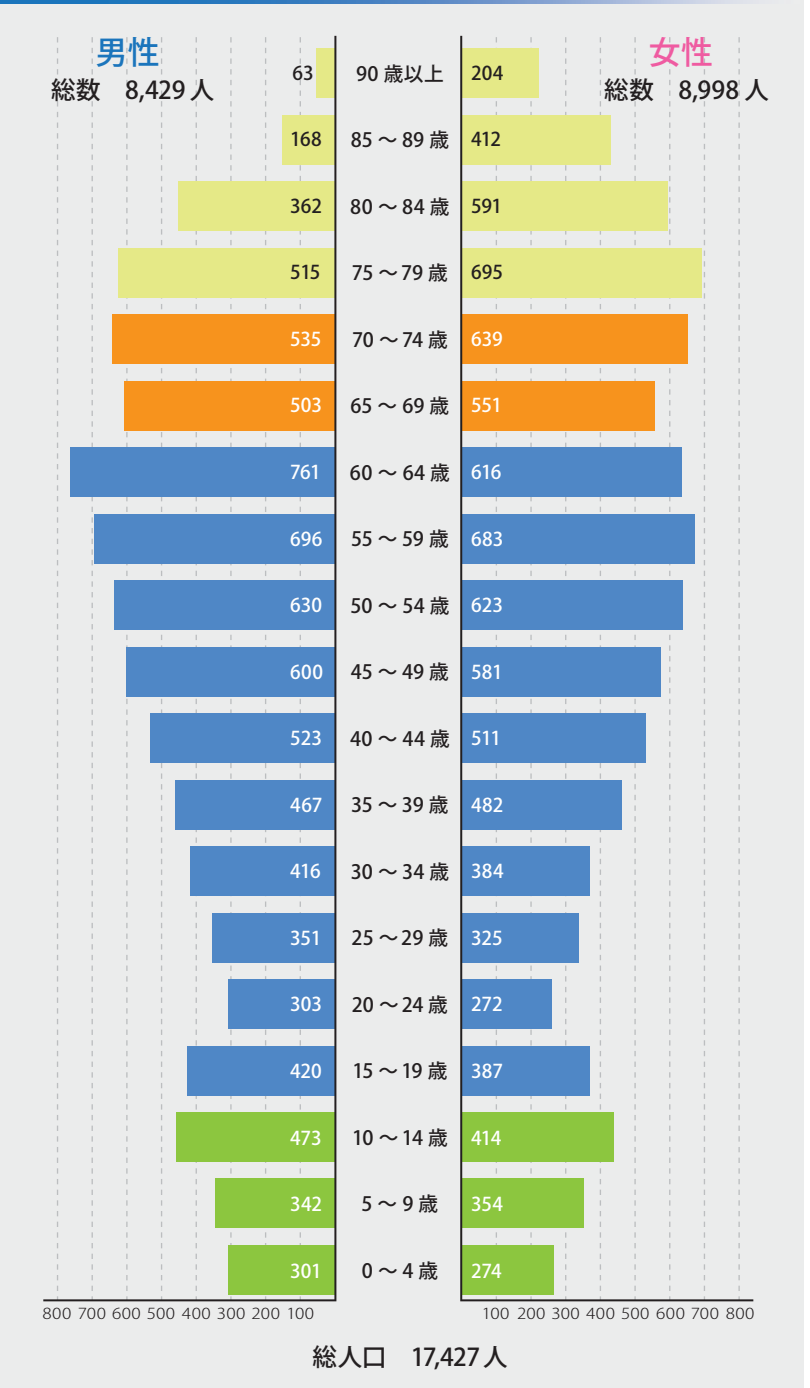
■人口の推移



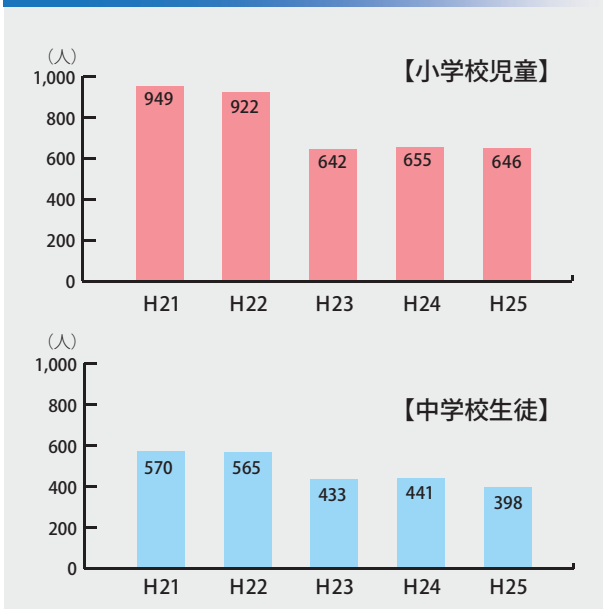
■国勢調査による人口の推移



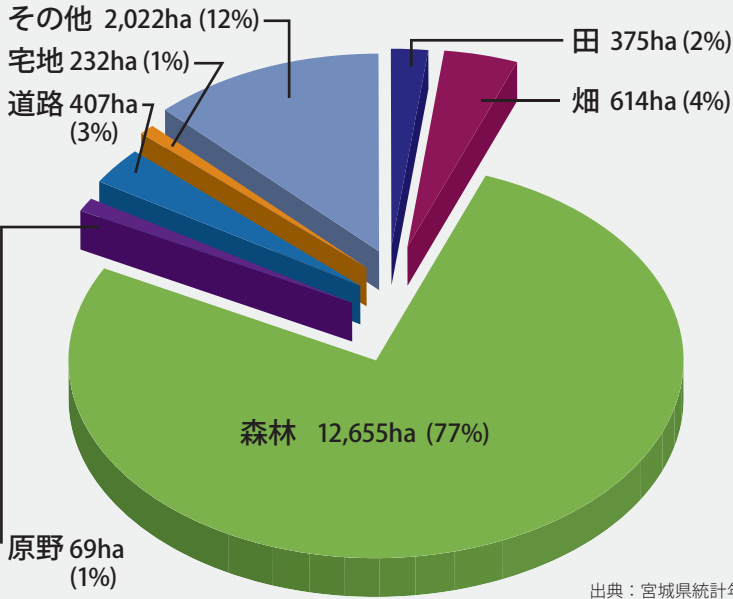
■年齢別人口 (平成22年 国勢調査)



■小学校児童・中学校生徒数の推移

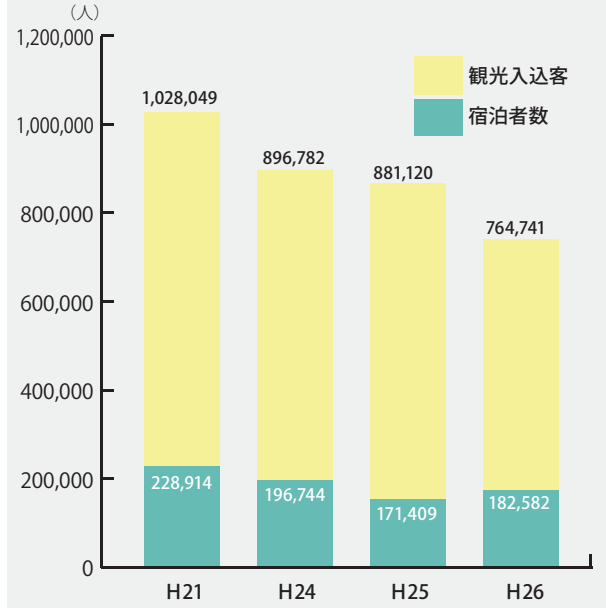


■地目別土地面積

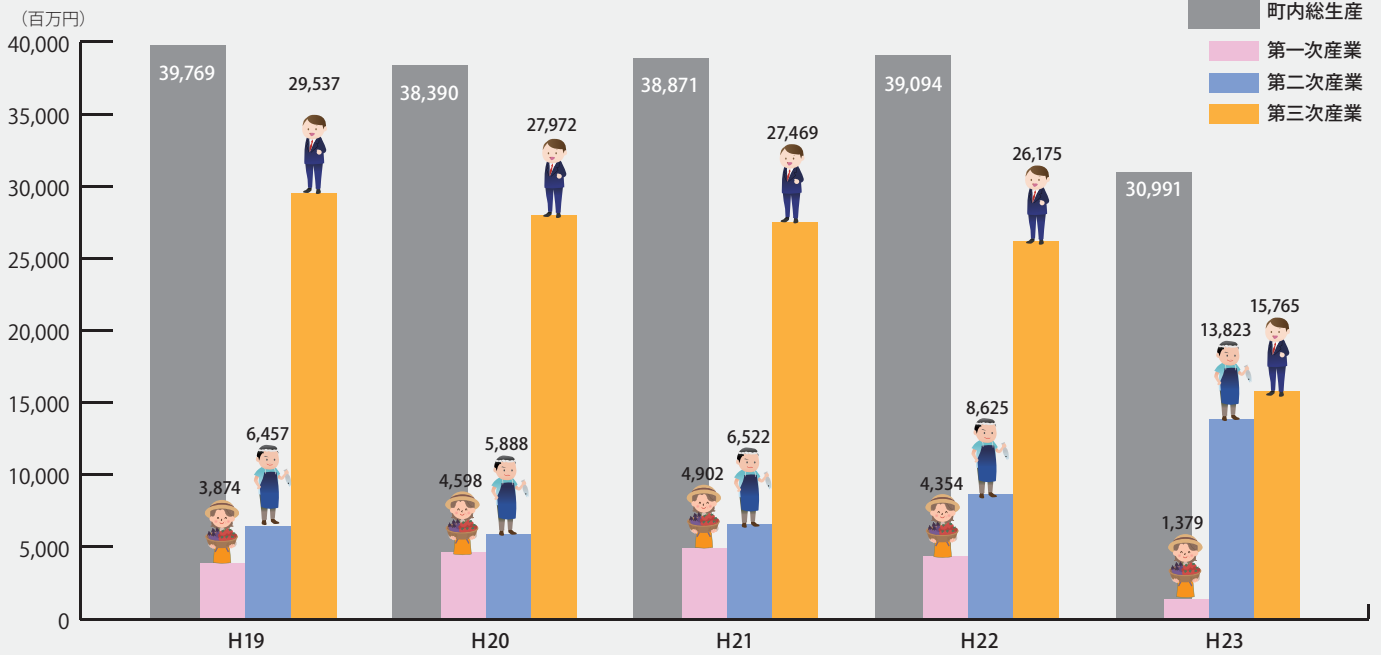


出典：宮城県統計年鑑

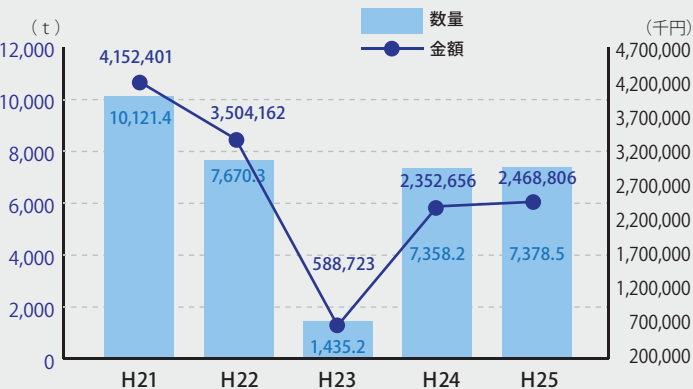
■南三陸町観光入込客の推移



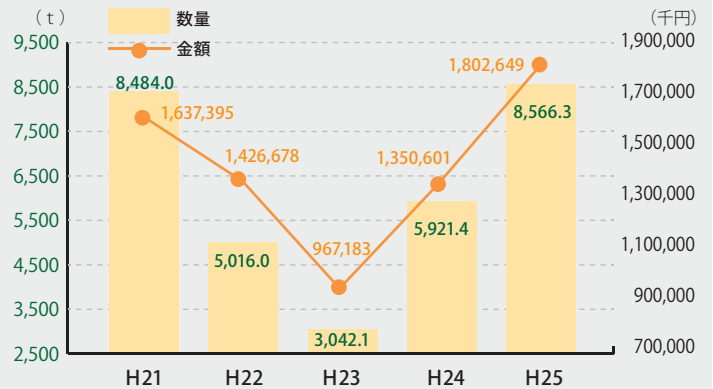
■経済活動別町内総生産の推移



■漁協販売取扱高の推移



■地方卸売市場水揚げ状況の推移



南三陸町民憲章

わたしたちは、
この素晴らしい町に暮らしながら
共に成長してゆくことを願って
ここに希望の姿をうたいます。

海
うまなみはなごころ
うまなみはなごころ

山
のちのちの山をのちのち
のちのちの山をのちのち

空
のよきにまわらぬまで
川をよきにまわらぬまで

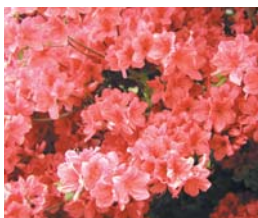
木
みな自然の恵みをつらに
抱かんとす南三陸



南三陸町の「南」と「三」をモチーフに未来の空へと羽ばたく鳥、美しい里山の自然、未来を創造する新しい波を表現。オレンジの丸は新町の未来を照らす太陽と町民の新町にかける情熱を表現しています。



南三陸町イメージシンボル



■町花 ツツジ

かざり気なく素朴に咲き誇るツツジは、みんなに親しまれています。当町では、特に田束山のツツジが華やかで、毎年5月に開催される「田束山つじまつり」には多くの行楽客が訪れます。



■町木 タブノキ

暖かい地方の海沿いに多い常緑の高木で、当町の海岸部のいたるところに自生しています。特に湾内に浮かぶ椿島は群生の北限地として植物学上極めて価値が高く、椿島暖地性植物群落として国の天然記念物に指定されています。



■町鳥 イヌワシ

国の天然記念物に指定されている絶滅危惧種ですが、当町の豊かな自然環境の中で生息している希少な鳥です。



■海の生物 マダコ

南三陸のタコは「西の明石、東の志津川」と称されるほど上質なタコの生産地として知られています。アフビや甲殻類を主食とし肉厚で濃厚な旨味のマダコは、三陸ならではの味わいを持つブランド品です。



■イメージカラー スカイブルー

発展、希望、爽やかさ、やすらぎ、そして南三陸の空と海を象徴しています。



 **南三陸町合併10周年記念誌**

平成 27 年 10 月 23 日発行

編集・発行/宮城県南三陸町企画課 ☎0226-46-1371
〒986-0792 宮城県本吉郡南三陸町志津川沼田56番地2
<http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/>